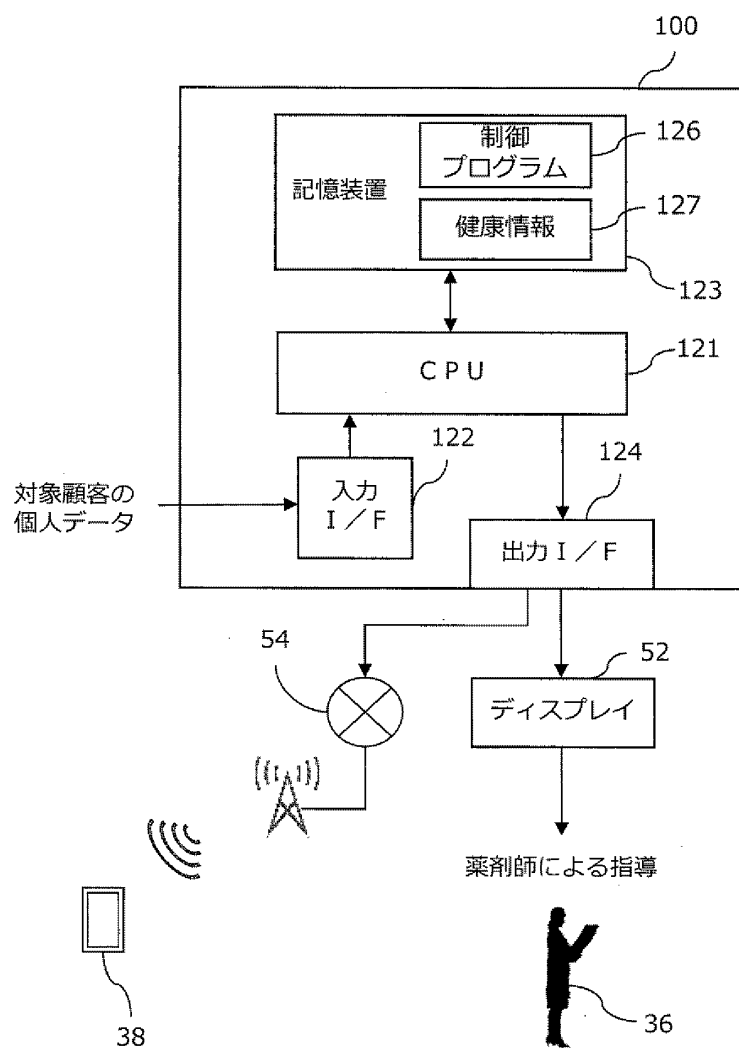
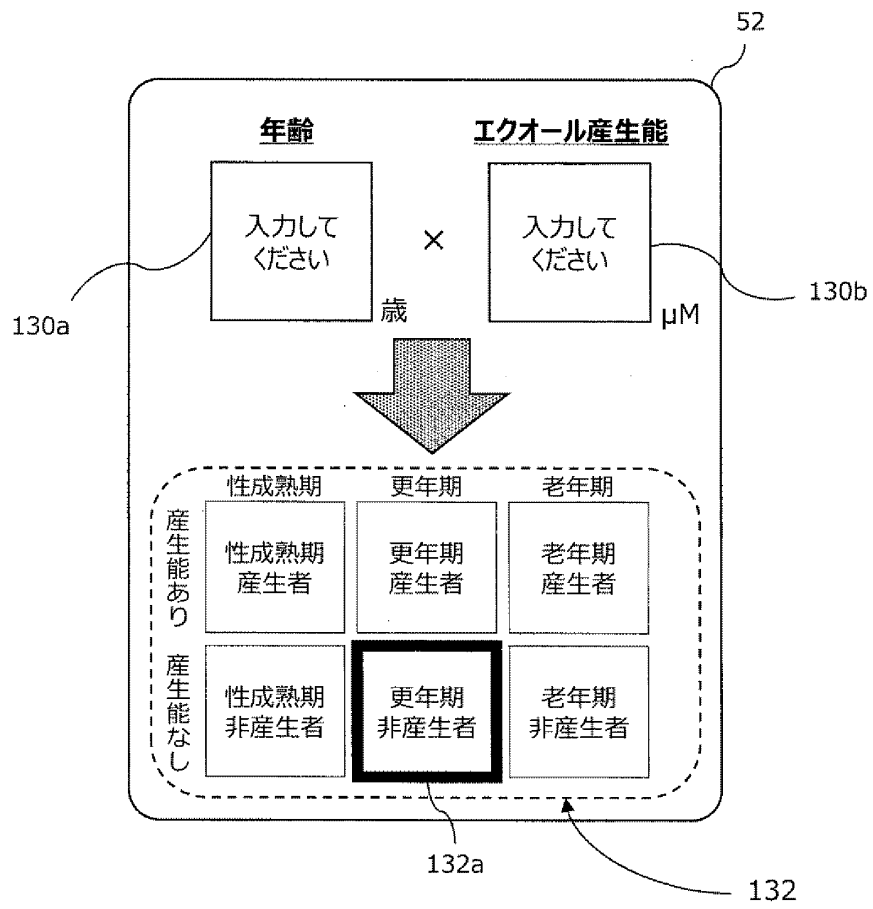


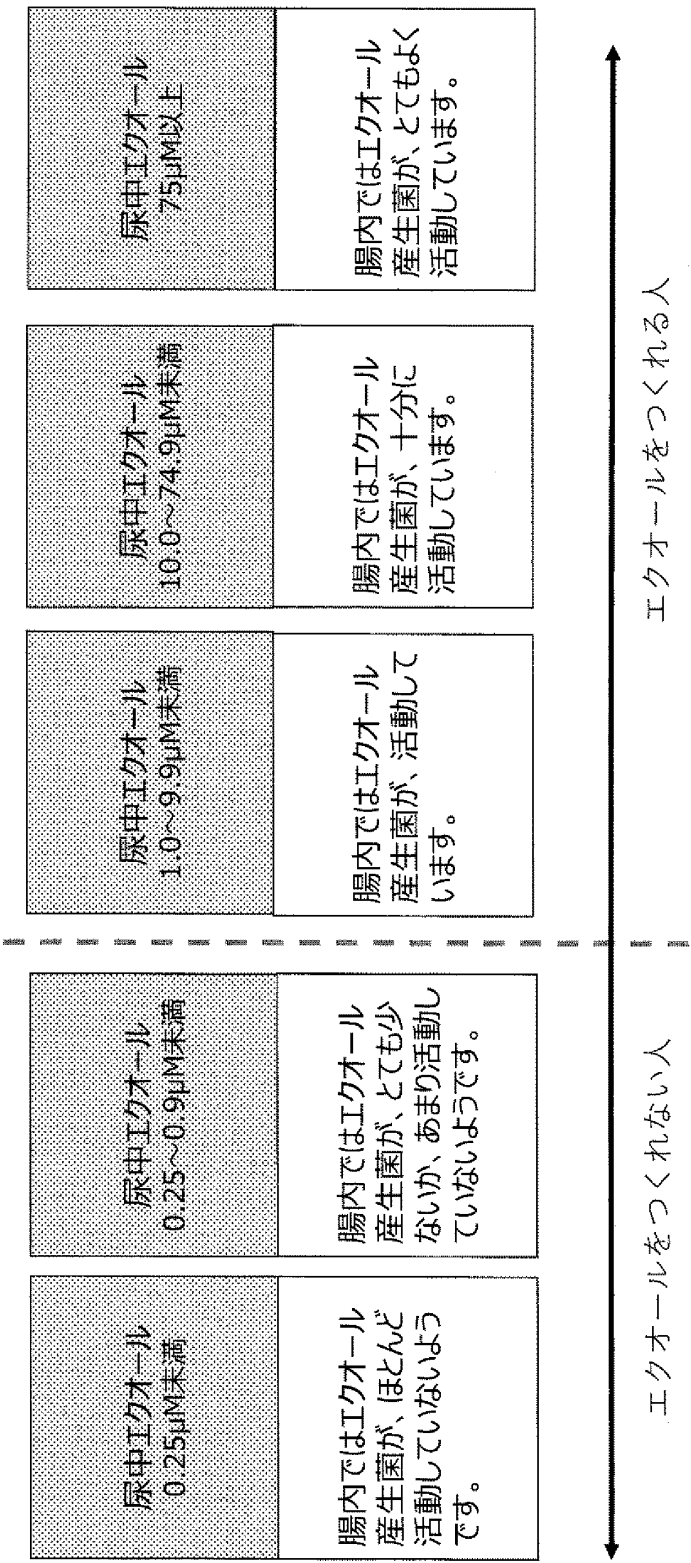
[図1]



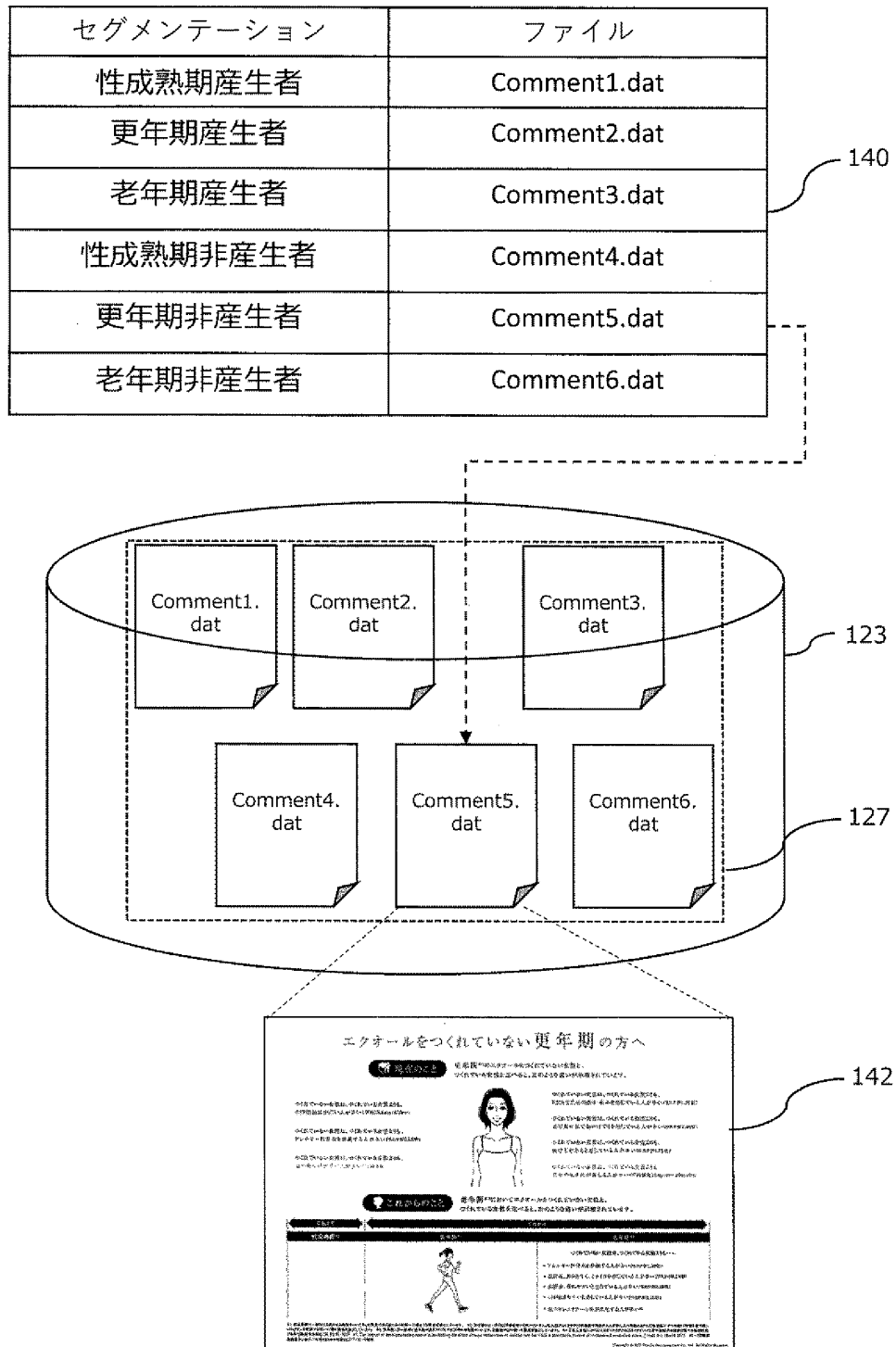
[図2]



[図3]



[図4]



年齢 **性別** **身長** **体重** **喫煙習慣** **歩数** **20歳からの体重の変化**

入力して
ください

×

入力して
ください

×

入力して
ください

×

入力して
ください

×

入力して
ください

cm

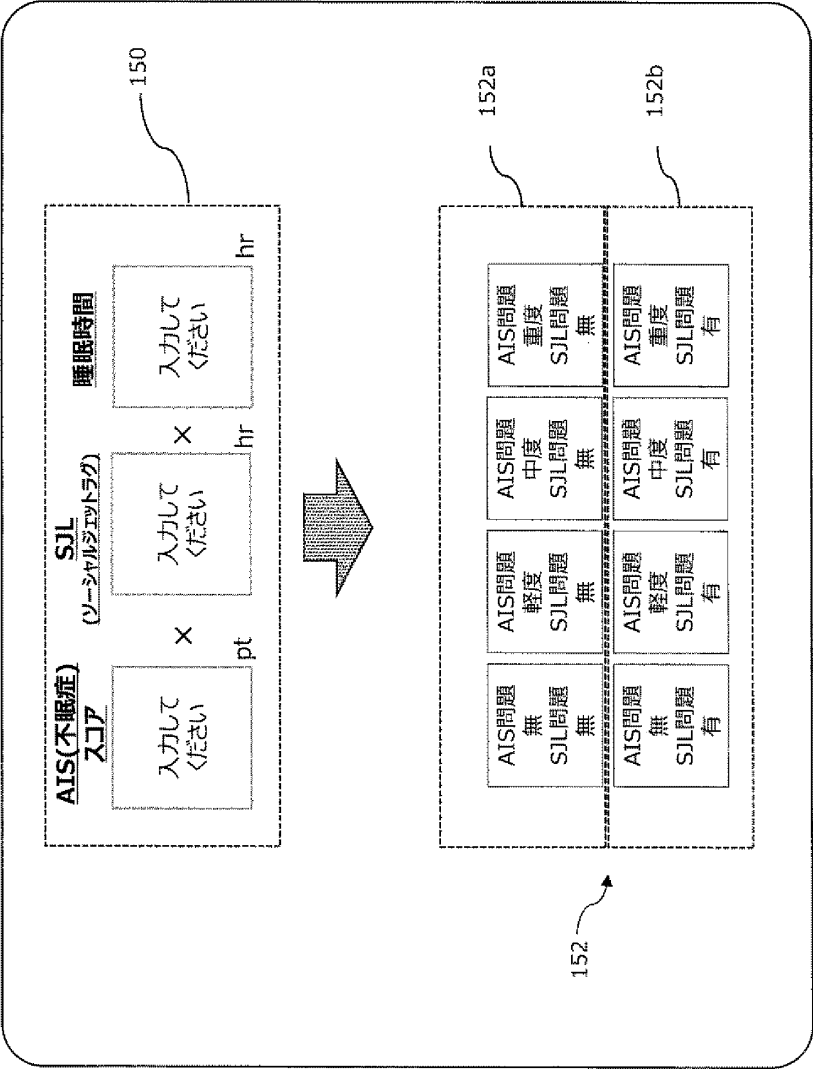
kg

kg

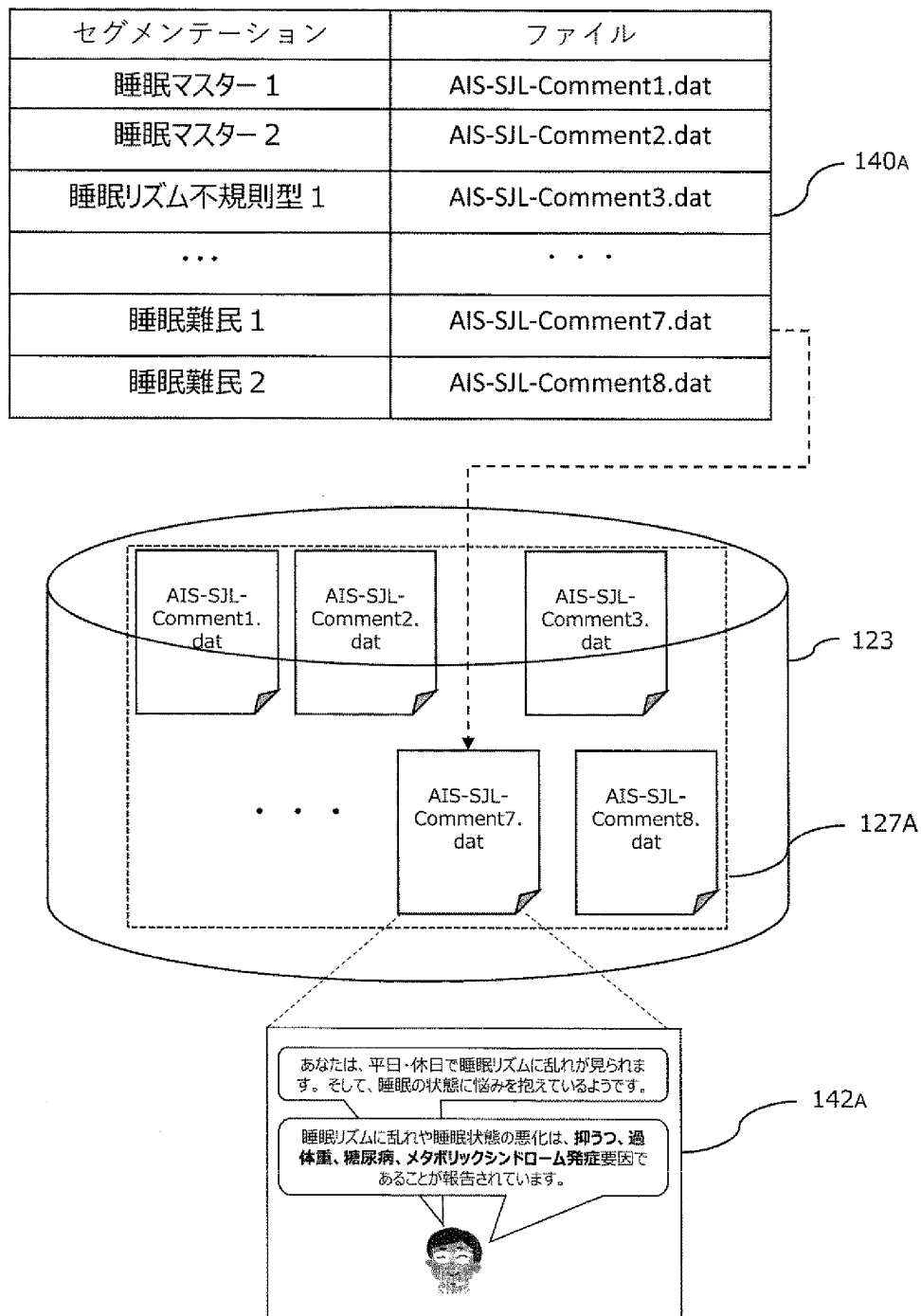
歩

	男性				女性			
	20-30代 BMI<18.5	18.5-24.9	25.0	60代以上 BMI<18.5	20-30代 BMI<18.5	18.5-24.9	25.0	60代以上 BMI<18.5
喫煙なし	20-30代 BMI<18.5 非喫煙者	40-50代 BMI<18.5 非喫煙者	60代以上 BMI<18.5 非喫煙者	60代以上 BMI<18.5 非喫煙者	20-30代 BMI<18.5 非喫煙者	40-50代 BMI<18.5 非喫煙者	60代以上 BMI<18.5 非喫煙者	60代以上 BMI<18.5 非喫煙者
喫煙あり	20-30代 BMI<18.5 喫煙者	40-50代 BMI<18.5 喫煙者	60代以上 BMI<18.5 喫煙者	60代以上 BMI<18.5 喫煙者	20-30代 BMI<18.5 喫煙者	40-50代 BMI<18.5 喫煙者	60代以上 BMI<18.5 喫煙者	60代以上 BMI<18.5 喫煙者

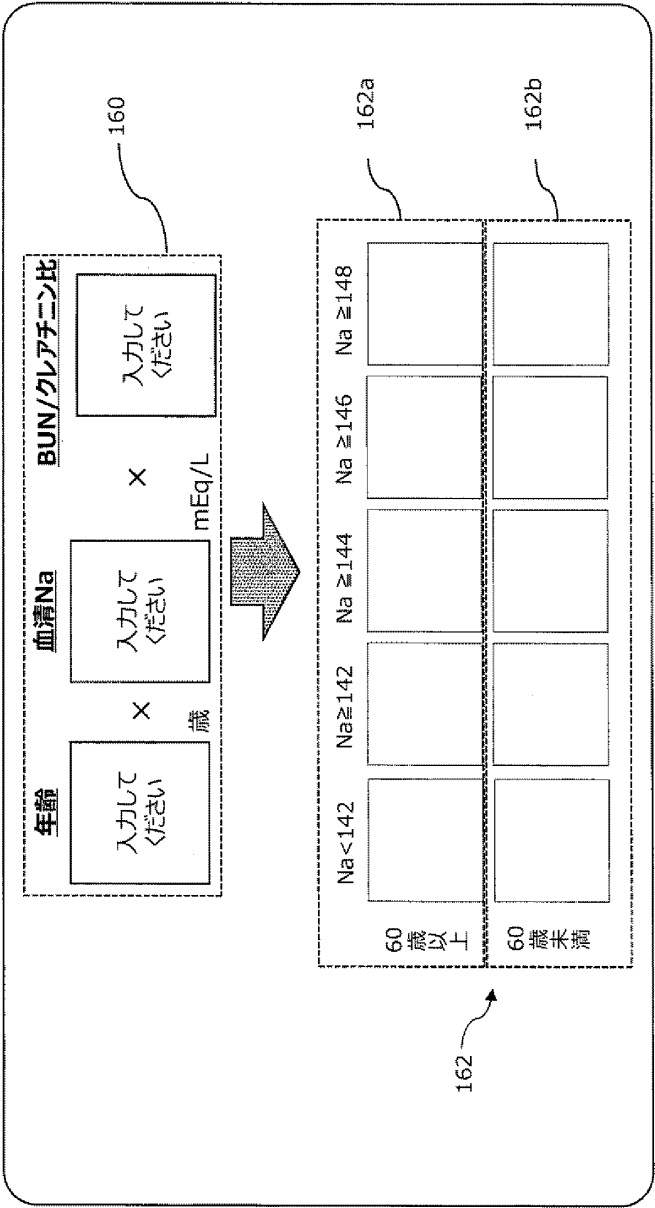
[図6]



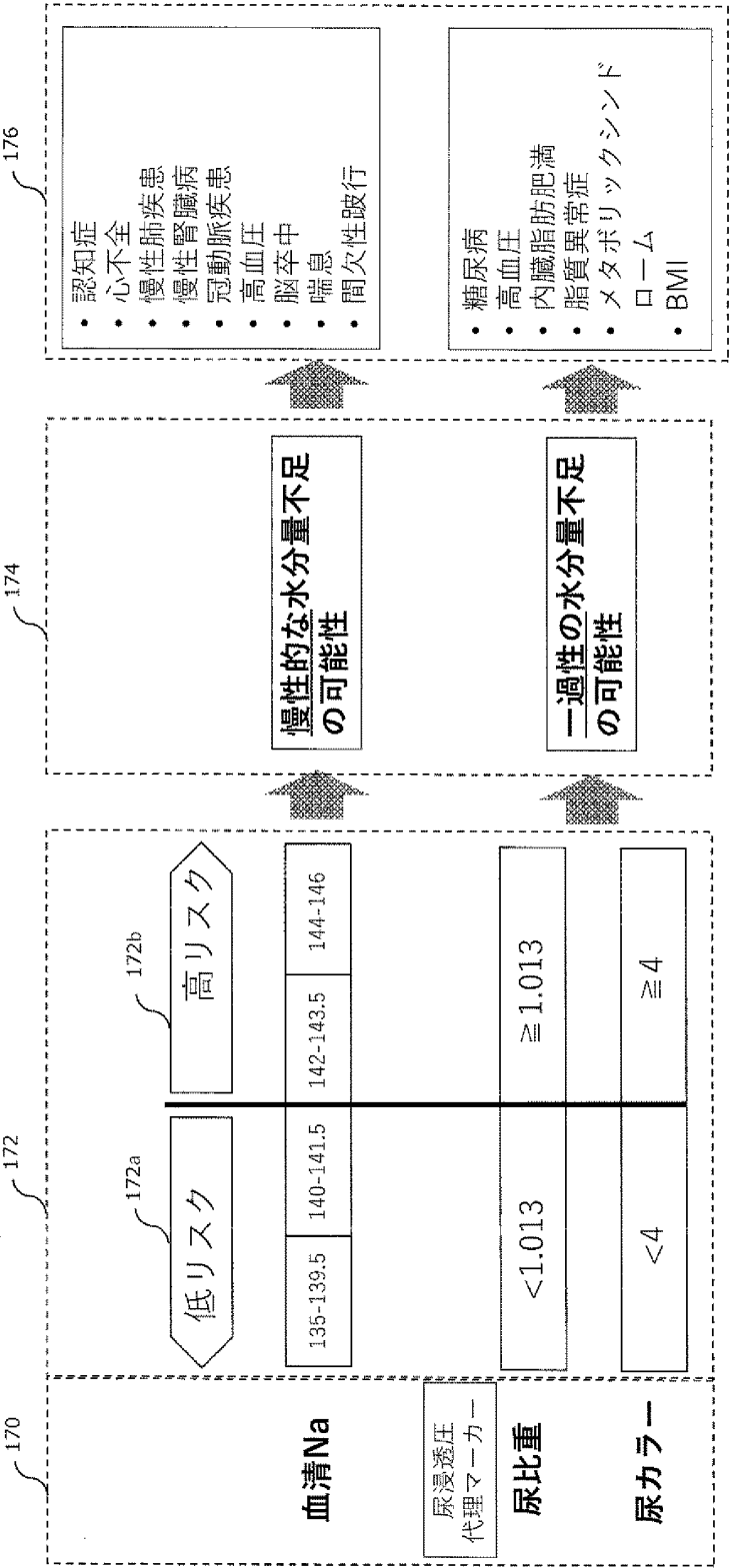
[図7]



[図8]

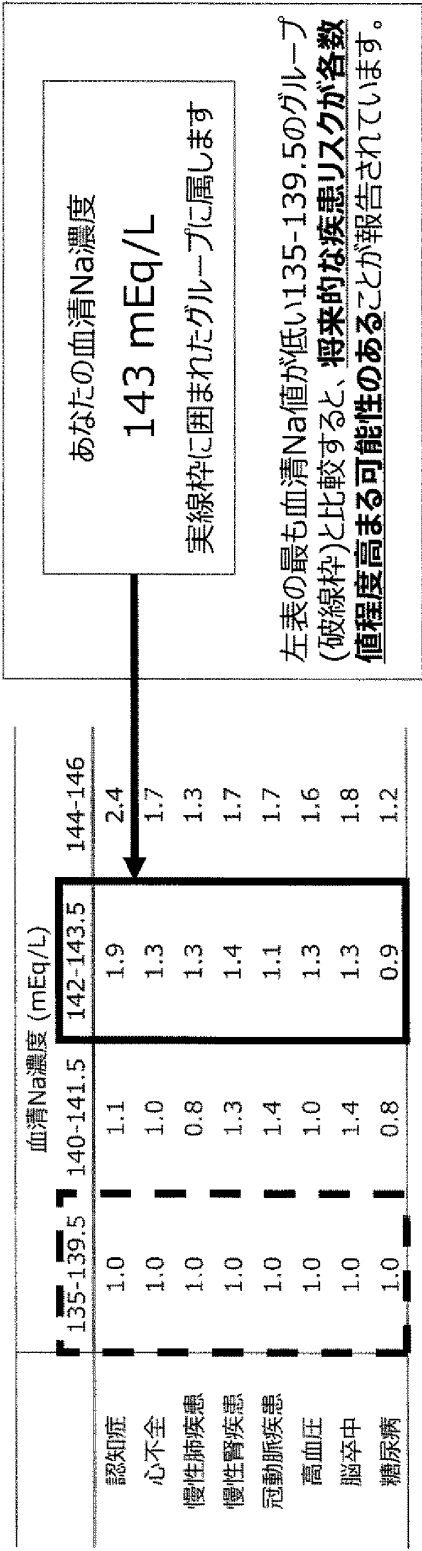


[図9]



[図10]

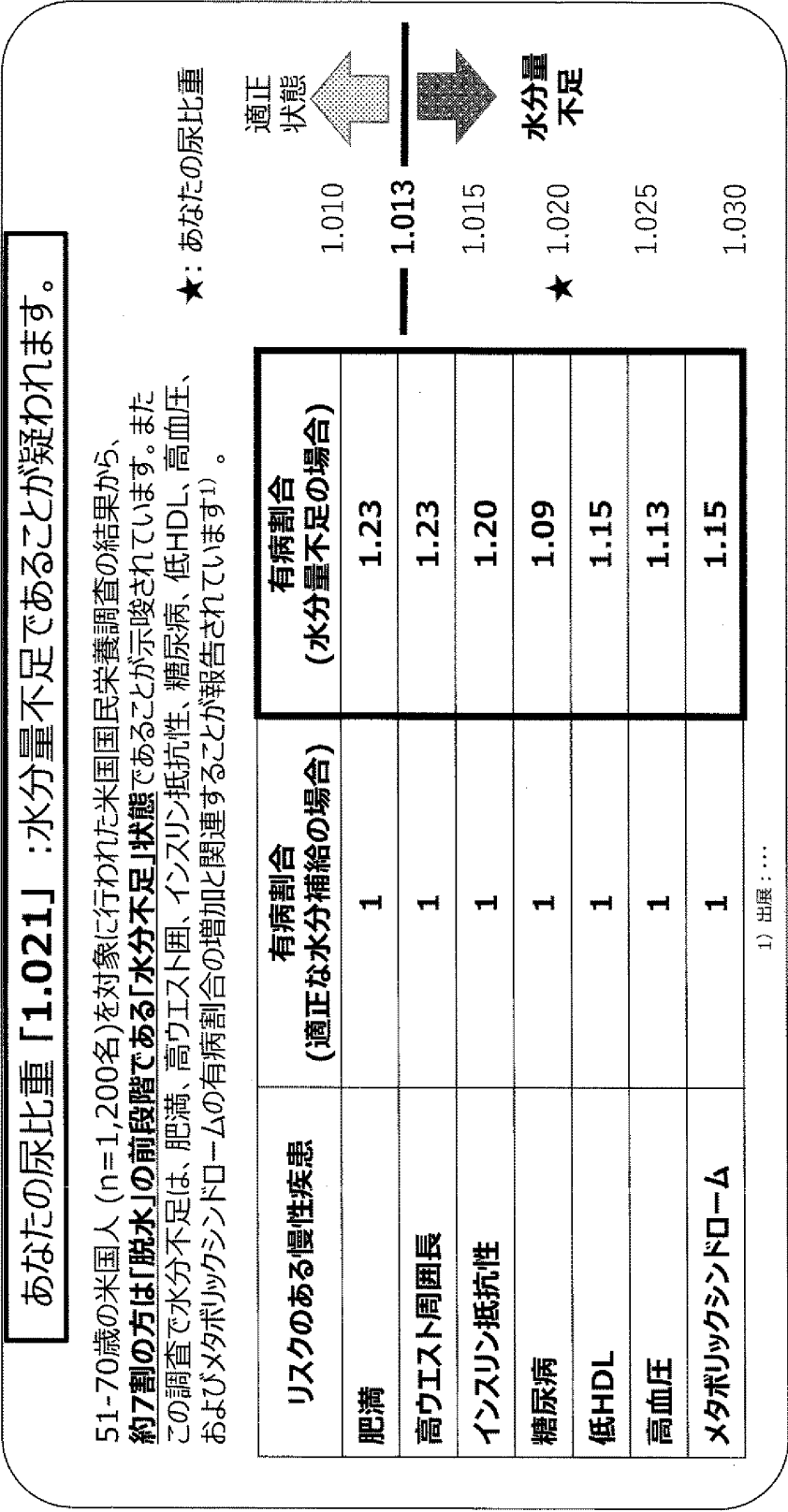
約15,800名を対象に血清ナトリウム(Na)値を測定し、その後24年間にわたり加齢性慢性疾患の発症を調査した大規模な研究結果が2019年に報告されました。その結果、血清ナトリウム濃度は**基準値内(135-146 mEq/L)であっても142 mEq/Lを超えると、将来的に認知症、心不全、慢性肺疾患、慢性腎疾患、慢性心疾患、高血圧、脳卒中、糖尿病**など多くの疾患の有病率が高くなることが報告されています¹⁾。



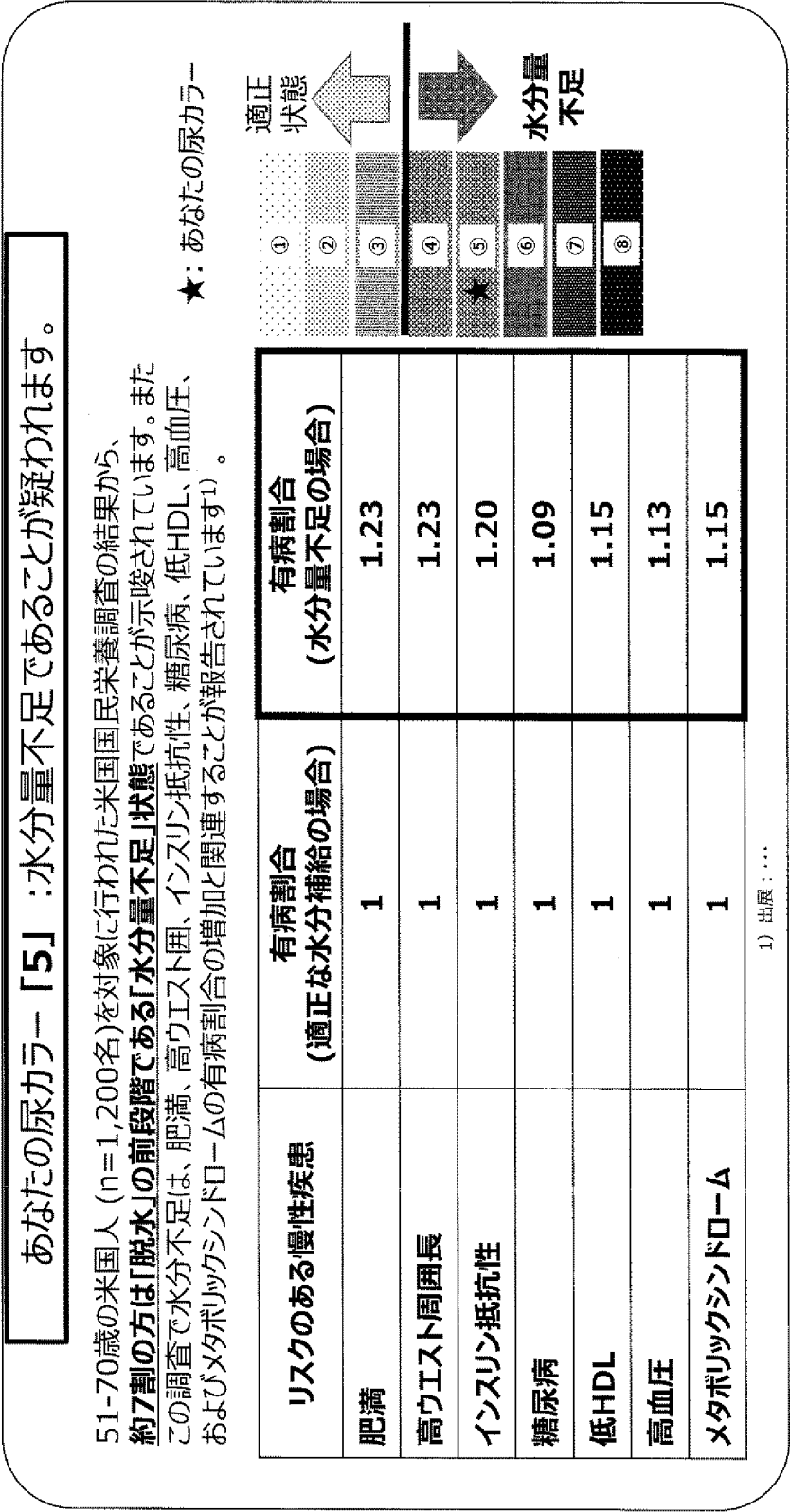
一方、同論文では、日頃からこまめな水分補給を心がけ血清Na値の低下を図ると、上記疾患の発症割合が大きく抑制されると推定されています。血清Na値が142を超える方はとくに**日常的にこまめな水分補給を心がけましょう。**

1) 出展：……

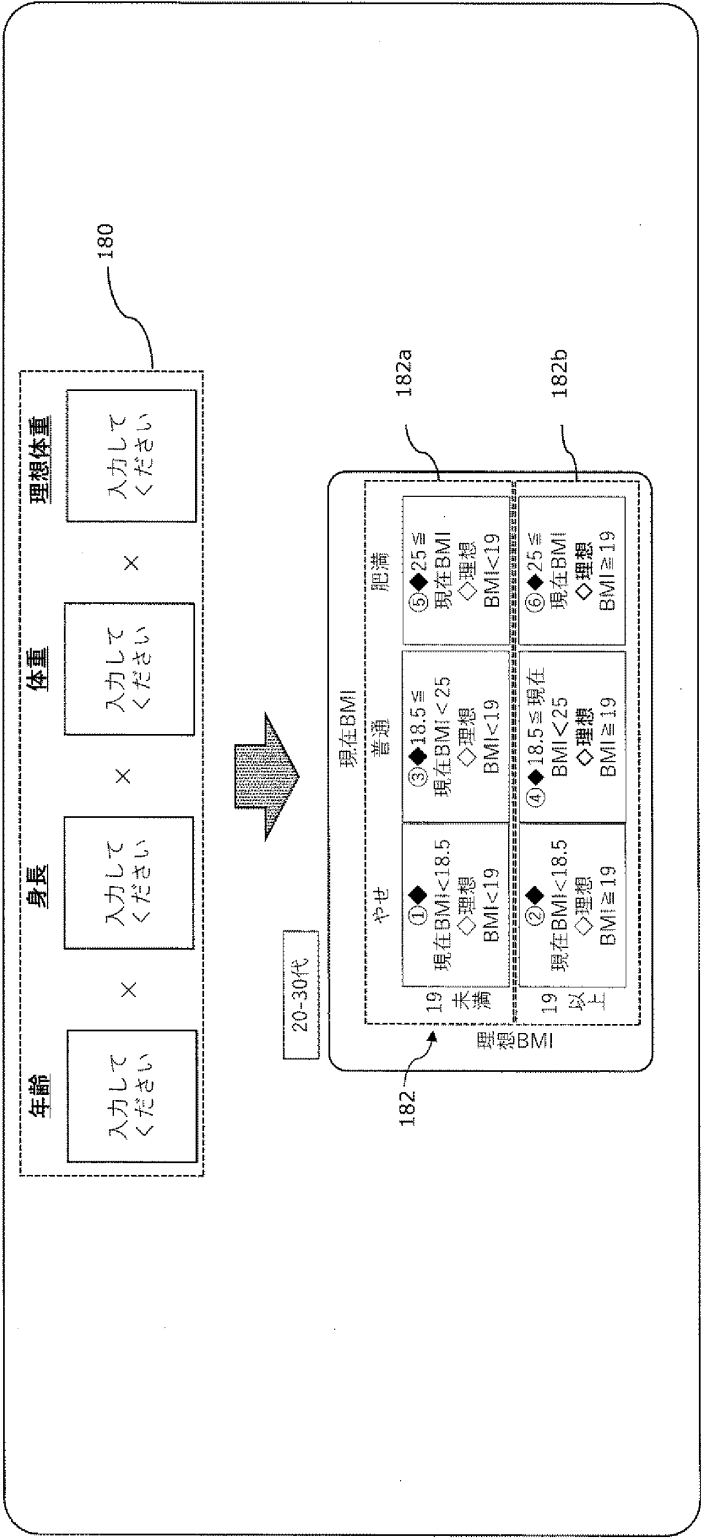
[図11]



[図12]



[図13]



[図14]

◆BMIと妊娠・出産に関すること

妊娠を考える女性にとって、「やせ」や「肥満」は妊娠を阻害する要因となり、普通体重の方と比べ、妊娠をはじめから妊娠に至るまでに長い期間を要するという報告もなされています⁹⁻¹¹⁾。

そして、低体重（やせ）は、早産や低出生体重などのリスクを高めることが報告されています。胎児期の発育が十分でなかった場合、成人後に肥満、循環器疾患、2型糖尿病などの生活習慣病の発症リスクが高まる可能性があることが、多くの先行研究で報告されています^{1,12)}。

肥満は、周産期の合併症（妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病など）や流産、早産、帝王切開、高出生体重児などのリスクを高めることが報告されています。高出生体重児は、青年期及び成人期における肥満のリスクが高いと考えられています^{13,14)}。

将来妊娠を希望する女性は、妊娠前からのからだづくりの大切さを知っておくことが重要です。その際、BMIが一つの健康指標となります。適切なBMIの範囲を目標とし、ご自身の生活・食事等で改善できることから取り組んでみましょう。

◆BMIと健康に関すること

あなたのBMI（体格指数）は、「低体重（やせ）」に該当します。低体重（やせ）は、排卵障害（月経不順）の原因となる危険性があり、排卵障害は不妊の原因となります。また、低体重（やせ）の女性ほど早期閉経のリスクが高いことが報告されており、将来の骨粗鬆症が心配されます^{1,2)}。

骨が弱くなると、背中が曲がったり、身長が縮んだり、顔の老化が進むなど、見た目にも大きな変化が現れます。中高年の女性を対象とした研究では、肌のしわや見た目年齢と、BMIの低さが関連すると報告されています³⁻⁵⁾。

あなたの現在・将来の健康のためにも、まずはあなたの持つボディイメージを変えていくことが大切かもしれません。最も病気になるにくい状態として、BMI 22となるときに体重が標準体重とさなれていきます⁶⁾。また、月経や排卵に異常が起こりにくいBMIとして、日本人では「BMI19～23程度」が良いと考えられています^{7,8)}。

海外では、BMI 18.5未満のモデルは活動禁止にするなどの規制も設けられています。それほど、低体重（やせ）はあなたの健康に関わることなのです。まずは、健康的に体重を増やしていくことを考えてみませんか。

1) . . .

[図15]

◆BMIと妊娠・出産に関すること

妊娠を考える女性にとって、「やせ」や「肥満」は妊娠を阻害する要因となり、普通体重の方と比べ、妊娠をはじめから妊娠に至るまでに長い期間を要するという報告もなされています^{9,11)}。

そして、低体重（やせ）は、早産や低出生体重などのリスクを高めることが報告されています。胎児期の発育が十分でなかった場合、成人後に肥満、循環器疾患、2型糖尿病などの生活習慣病の発症リスクが高まる可能性があることが、多くの先行研究で報告されています^{1,12)}。

肥満は、周産期の合併症（妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病など）や流産、早産、帝王切開、高出生体重児などのリスクを高めることが報告されています。高出生体重児は、青年期及び成人期における肥満のリスクが高いと考えられています^{13,14)}。

将来妊娠を希望する女性は、妊娠前からのからだづくりの大切さを知っておくことが重要です。その際、BMIが一つの健康指標となります。適切なBMIの範囲を目指し、ご自身の生活・食事等で改善できることから取り組んでみましょう。

◆BMIと健康に関すること

あなたのBMI（体格指数）は、「低体重（やせ）」に該当します。低体重（やせ）は、排卵障害（月経不順）の原因となる危険性があり、排卵障害は不妊の原因となります。また、低体重（やせ）の女性ほど早期閉経のリスクが高いことが報告されており、将来の骨粗鬆症が心配されます^{1,2)}。

骨が弱くなると、背中が曲がったり、身長が縮んだり、顔の老けが進むなど、見た目にも大きな変化が現れます。中高年の女性を対象とした研究では、肌のしわや見た目の年齢と、BMIの低さが関連すると報告されています³⁻⁵⁾。

あなたは、ご自身の理想体重に対して適切なイメージを持たれているようです。最も病気になるににくい状態として、BMI 22となるときは、体重が標準体重とされています⁶⁾。また、月経や排卵に異常が起こりにくいBMIとして、日本人では「BMI19～23程度」が良いと考えられています^{7,8)}。

もし、これまで低体重（やせ）についてあまり意識されていなかったのであれば、現在・将来の健康のためにも、健康的に体重を増やしていくことを考えてみませんか。

[図16]

◆BMIと妊娠・出産に関すること

妊娠を考える場合にも、あなたのBMI（体格指数）は適切な範囲に該当します。「やせ」や「肥満」は妊娠を阻害する要因となり、普通体重の方と比べ、妊娠をはじめから妊娠に至るまでに長い期間を要するという報告もなされています⁹⁻¹¹⁾。

そして、低体重（やせ）は、早産や低出生体重などのリスクを高めることが報告されています。胎児期の発育が十分でなかった場合、成人後に肥満、循環器疾患、2型糖尿病などの生活習慣病の発症リスクが高まる可能性があることが、多くの先行研究で報告されています^{3,12)}。

肥満は、周産期の合併症（妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病など）や流産、早産、帝王切開、高出生体重児などのリスクを高めることが報告されています。高出生体重児は、青年期及び成人期における肥満のリスクが高いと考えられています^{13,14)}。

将来妊娠を希望する女性は、妊娠前からのからだづくりの大切さを知っておくことが重要です。その際、BMIが一つの健康指標となります。このまま、適切なBMIの範囲を維持していくことを心がけましょう。

BMIと健康に関すること

あなたのBMI（体格指数）は「普通体重（標準）」に該当します。普通体重は健康リスクが最も低いとされています。月経や排卵に異常が起これにくいBMIとしては「BMI19～23程度」が良いと考えられています^{1,2)}。

あなたは、現在・将来の健康のためにも、あなたの持つボディメーজを変えていくことが大切かもしれません。低体重（やせ）は、排卵障害（月経不順）の原因となる危険性があり、排卵障害は不妊の原因となります。また、低体重（やせ）の女性ほど早期閉経のリスクが高いことが報告されており、将来の骨粗鬆症が心配されます^{3,4)}。

骨が弱くなると、背中が曲がったり、身長が縮んだり、顔の老化が進むなど、見た目にも大きな変化が現れます。中高年の女性を対象とした研究では、肌のしわや見た目年齢と、BMIの低さが関連すると報告されています⁵⁻⁷⁾。

海外では、BMI<18.5のモデルは活動禁止にするなどの規制も設けられています。それほど、低体重（やせ）は女性の健康に関わることなのです。

最も病気になるにくい状態として、BMI 22となるときの体重が標準体重とされています⁸⁾。やせも肥満も健康には良くありません。BMI22を一つの目安として、健康的に体重を維持していきましょう。

[図17]

◆BMIと妊娠・出産に関すること

妊娠を考える場合にも、あなたのBMI（体格指数）は適切な範囲に該当します。「やせ」や「肥満」は妊娠を阻害する要因となり、普通体重の方と比べ、妊娠をはじめから妊娠に至るまでに長い期間を要するという報告もなされています⁴⁻⁶⁾。

そして、低体重（やせ）は、早産や低出生体重などのリスクを高めることが報告されています。胎児期の発育が十分でなかった場合、成人後に肥満、循環器疾患、2型糖尿病などの生活習慣病の発症リスクが高まる可能性^{7,8)}があることが、多くの先行研究で報告されています^{7,8)}。

肥満は、周産期の合併症（妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病など）や流産、早産、帝王切開、高出生体重児などのリスクを高めることが報告されています。高出生体重児は、青年期及び成人期における肥満のリスクが高いと考えられています^{9,10)}。

将来妊娠を希望する女性は、妊娠前からのからだづくりの大切さを知っておくことが重要です。その際、BMIが一つの健康指標となります。このまま、適切なBMIの範囲を維持していくことを心がけましょう。

◆BMIと健康に関すること

あなたのBMI（体格指数）は「普通体重（標準）」に該当します。普通体重は健康リスクが最も低いとされています。月経や排卵に異常が起これにくいBMIとしては、日本人では「BMI19～23程度」が良いと考えられています^{1,2)}。

あなたは、ご自身の理想体重に対して適切なイメージを保持されているようです。最も病気になるにくい状態として、BMI 22となるときに体重が標準体重とされています³⁾。やせも肥満も健康には良くありません。BMI22を一つの目安として、健康的に体重を維持していきましょ。

1) . . .

[図18]

◆BMIと妊娠・出産に関すること

妊娠を考える女性にとって、「やせ」や「肥満」は妊娠を阻害する要因となり、普通体重の方と比べ、妊娠をはじめから妊娠に至るまでに長い期間を要するという報告もなされています。⁷⁻⁹⁾

そして、低体重（やせ）は、早産や低出生体重などのリスクを高めることが報告されています。胎児期の発育が十分でなかった場合、成人後に肥満、循環器疾患、2型糖尿病などの生活習慣病の発症リスクが高まる可能性があることが、多くの先行研究で報告されています。^{5,10)}

肥満は、周産期の合併症（妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病など）や流産、早産、帝王切開、高出生体重児などのリスクを高めることが報告されています。高出生体重児は、青年期及び成人期における肥満のリスクが高いと考えられています^{11,12)}。

将来妊娠を希望する女性は、妊娠前からのからだづくりの大切さを知っておくことが重要です。その際、BMIが一つの健康指標となります。適切なBMIの範囲を目指し、ご自身の生活・食事等で改善できることから取り組んでみましょう。

◆BMIと健康に関すること

あなたのBMI（体格指数）は「肥満」に該当します。肥満は、生活習慣病だけではなく、**婦人科疾患（月経異常・排卵障害など）**の原因となります。月経や排卵に異常が起これにくいBMIとして、日本人では「**BMI19～23程度**」が良いと考えられています^{2,3)}。

最も病気になるににくい状態としては、BMI 22になるときの体重が標準体重とされています⁴⁾。**過度な体重減少や低体重（やせ）**もまた、**排卵障害（月経不順）**の原因となる危険性があります⁵⁾。

また、低体重（やせ）の女性ほど早期閉経のリスクが高いことが報告されており^{5,6)}、将来の骨粗鬆症が心配されるなど、やせすぎも健康に良くありません。BMI22を一つの目安として、無理のない計画的な減量を考えてみましょう。

1) …

[図19]

◆BMIと健康に関すること

あなたのBMI（体格指数）は「肥満」に該当します。肥満は、生活習慣病だけではなく、婦人科疾患（月経異常・排卵障害など）の原因となる危険性があります¹⁾。排卵障害は不妊の原因となります。月経や排卵に異常が起こりにくいBMIとして、日本人では「BMI19～23程度」が良いと考えられています^{2,3)}。

最も病気になるにくい状態としては、BMI22となるときの体重が標準体重とされています⁴⁾。やせも肥満も健康には良くありません。BMI22を一つの目安として、無理のない計画的な減量を考えてみましょう。

※過度な体重減少により無月経となるリスクがありますので、減量は計画的に進めましょう。

1)・・・

◆BMIと妊娠・出産に関すること

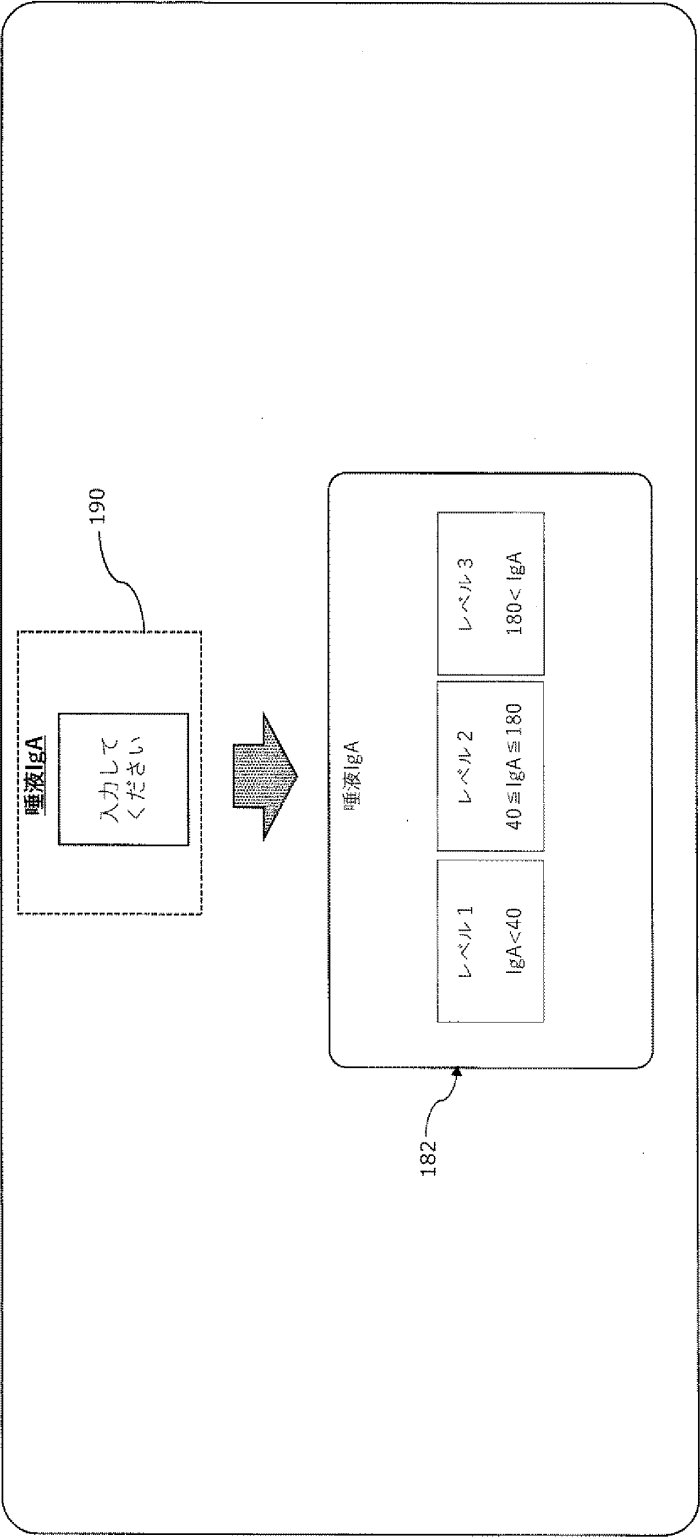
妊娠を考える女性にとって、「やせ」や「肥満」は妊娠を阻害する要因となり、普通体重の方と比べ、妊娠をはじめから妊娠に至るまでに長い期間を要するという報告もなされています。⁵⁻⁷⁾

そして、低体重（やせ）は、早産や低出生体重などのリスクを高めることが報告されています。胎児期の発育が十分でなかった場合、成人後に肥満、循環器疾患、2型糖尿病などの生活習慣病の発症リスクが高まる可能性があることが、多くの先行研究で報告されています。^{8,9)}

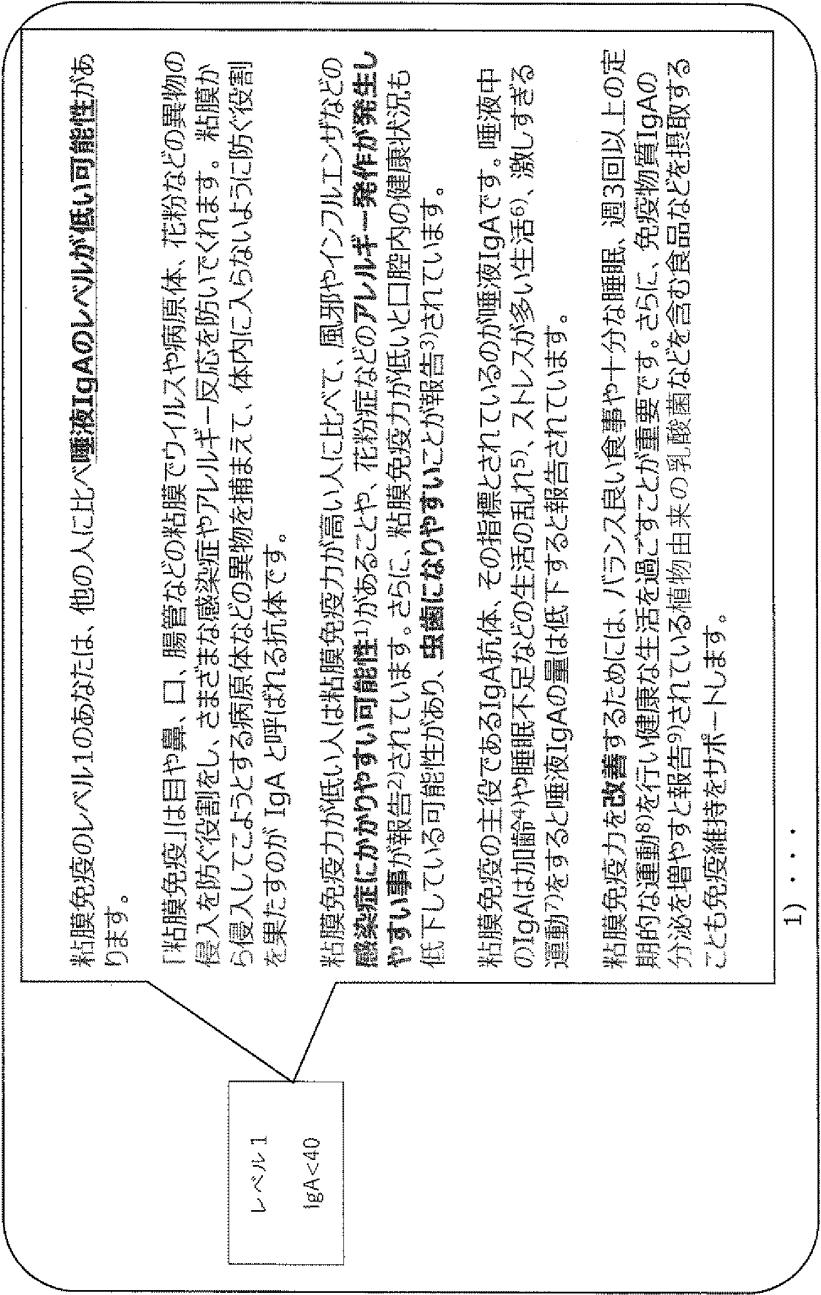
肥満は、周産期の合併症（妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病など）や流産、早産、帝王切開、高出生体重児などのリスクを高めることが報告されています。高出生体重児は、青年期及び成人期における肥満のリスクが高いと考えられています^{10,11)}。

将来妊娠を希望する女性は、妊娠前からのからだづくりの大切さを知っておくことが重要です。その際、BMIが一つの健康指標となります。適切なBMIの範囲を目指し、ご自身の生活・食事等で改善できることから取り組んでみましょう。

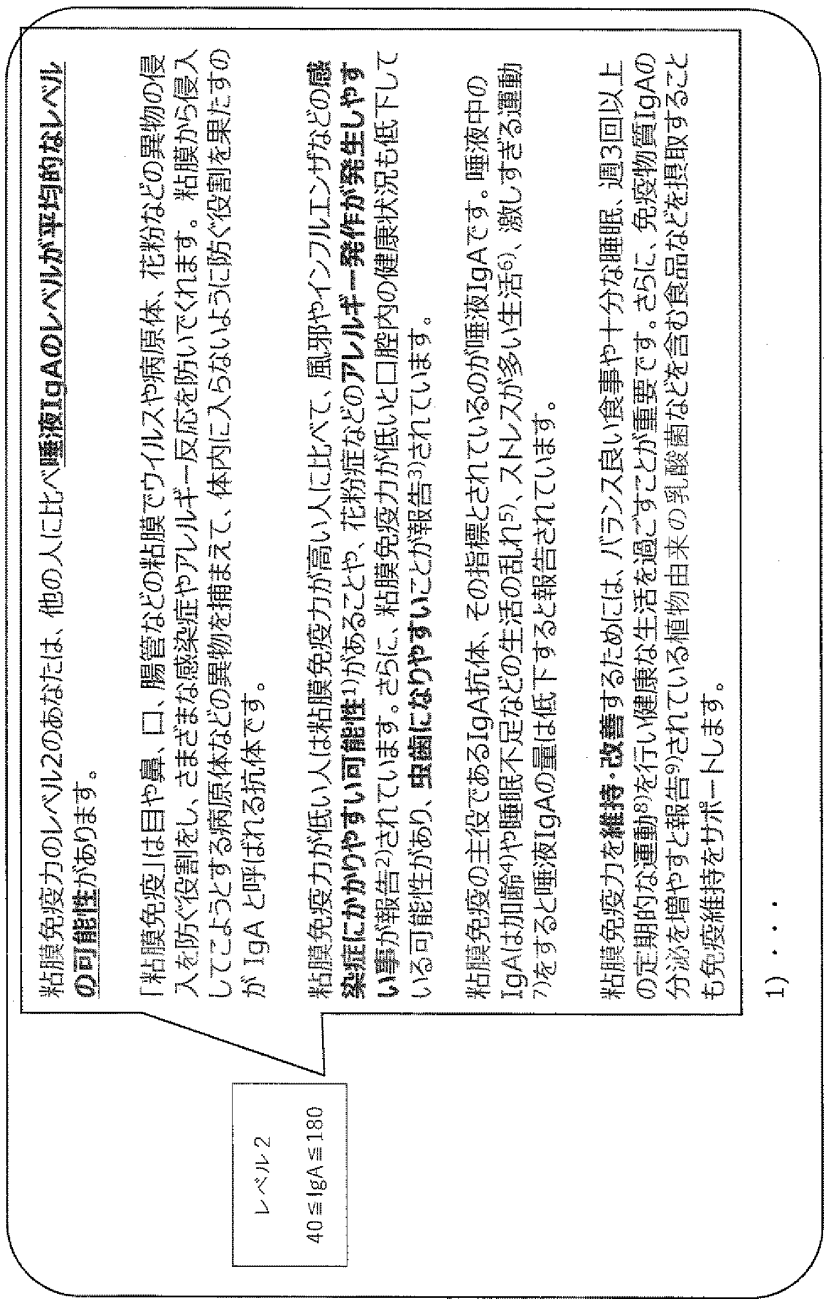
[図20]



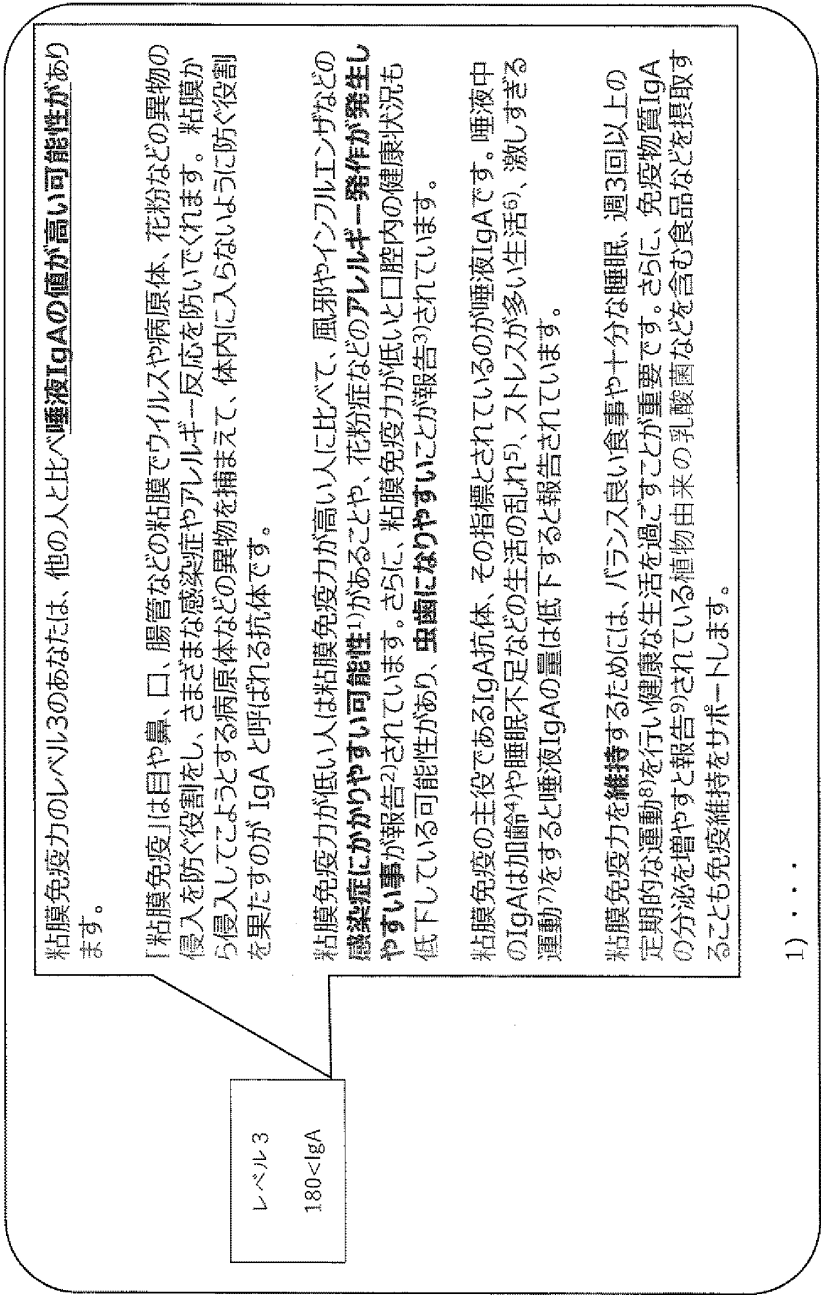
[図21]



[図22]



[図23]



[図24]

健康状態	個人データ	⇒	症状データ	⇒	ターゲティング	⇒	健康リスク	⇒	健康フィードバック	⇒	ソリューション
女性の健康	個人データ	⇒	SMI 月経前症状の 自覚	⇒	更年期症状・ 月経前症状 の人	⇒	更年期症状・ 頭髪・肌、 PMS、アレルギー 性鼻炎	⇒	ソイチェック	⇒	製品A
睡眠	個人データ	⇒	睡眠の質・ リズム	⇒	睡眠が乱れて いる人	⇒	生産性低下・ 風邪罹患	⇒	睡眠と疾病との関 係	⇒	製品B
体格・運動	個人データ	⇒	体重・BMI ・歩数	⇒	肥満・痩せ・歩 数が少ない人	⇒	生活習慣病	⇒	運動・BMI・体重の 変化と疾病との関 係	⇒	製品C
水分	個人データ	⇒	水分不足に伴 う自覚症状	⇒	水分補給がで きていない人	⇒	各種疾病	⇒	水分補給と疾病と の関係	⇒	製品D
免疫	個人データ	⇒	風邪の引きや すさ・頻度 口腔環境状態	⇒	免疫が低下し ている人	⇒	風邪罹患・感 染症・アレルギー 発作	⇒	IgA測定	⇒	製品E
栄養	個人データ	⇒	栄養低下に伴 う自覚症状	⇒	栄養補給でき ていない人	⇒	生活機能・各 種疾病	⇒	栄養と生活機能・各 種疾病との関係	⇒	製品F

[図25A]

認知症	臨床的認知症尺度：CDR または 臨床的認知症尺度-日本版：CDR-J
	改定 長谷川式簡易知能評価スケール：HDS-R ミニメンタルテスト検査：MMSE DACS-21（ダスク-21）
	Montreal Cognitive Assessment(MoCA) または Japanese version of MoCA(MoCA-J) ABC dementia scale(ABC-DS)：ABC認知症スケール
酸素利用	最大酸素摂取量
血管の健康	血中脂質値、血管内皮機能検査（プレチスモグラフィ、FMD、RH-PAT）、 動脈ステイフネス（cfPWV、baPWV、CAVI、ステイフネスパラメータβ）、 増大係数・中心血圧、加速度脈波：SDPTG、足関節上腕血圧比・足趾上腕血圧比 バイオマーカー（CRP、ESR、HLA）、画像診断（超音波、CT、 MRアンギオ）
口腔衛生	歯周病チェックリスト オーラルフレイルチェック表
肌の健康	肌のQOL/DLQI（Dermatology Life Quality Index） アトピー性皮膚炎重症度評価/SCORAD（Severity Scoring of Atopic Dermatitis） アトピー性皮膚炎重症度評価/EASI（Eczema Area and Severity Index） アトピー性皮膚炎重症度評価/PO-SCORAD アトピー性皮膚炎重症度評価/SA-EASI 湿疹/POEM（Patient-Oriented Eczema Measure） 褥瘡形成危険度チェック・リスト/Braden Scale 褥瘡の状態評価指標/DESIGN-R®（褥瘡経過評価用） 尋常性乾癬の重症度指標/BSA（Body Surface Area） 尋常性乾癬の重症度指標/PASI（Psoriasis Area and Severity Index） 皮膚バリア機能/TEWL（transepidermal water loss：経表皮水分損失量） キメ測定、シワ測定/レプリカ法、invivo法 皮膚評価（角層水分量、皮膚粘弾性、非資料、皮膚色、メラニン量、エリスマ値、毛 穴/面積・角度・直径・短径） 皮膚測定・評価その他現場で使用されている評価方法 視覚的アナログスケール（Visual Analogue Scale: VAS） 数値評価スケール（Numerical Rating Scale: NRS） 表情尺度スケール（Face Rating Scale: FRS） パッチテスト SPF/PFA試験

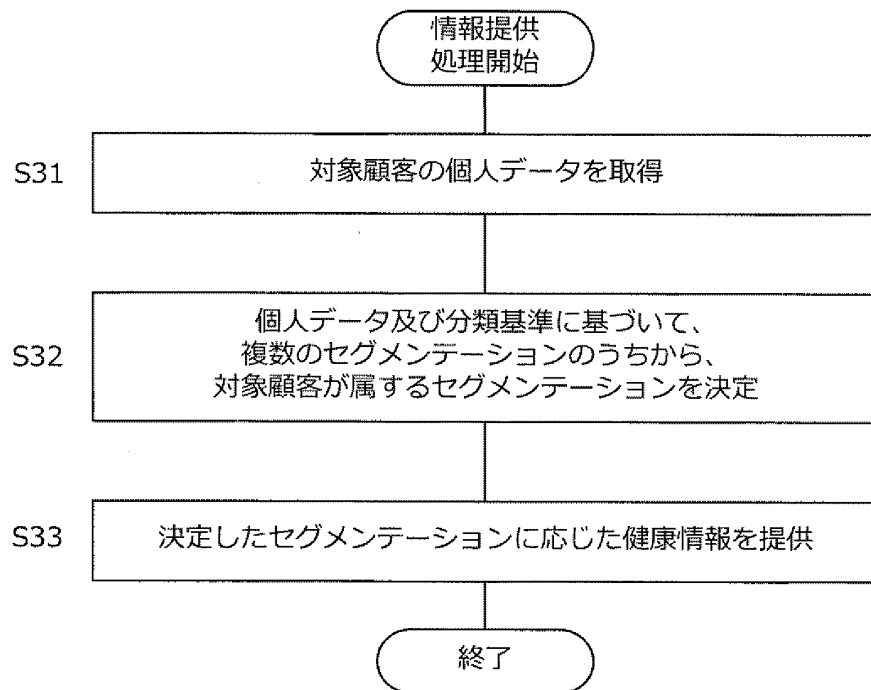
[図25B]

頭髮の健康	脱毛評価（トリコグラム法、フォトリコグラム法、抜け毛カウント法、毛髪径測定法）
	女性型脱毛症 FPHL（Female Pattern Hair Loss）/Sinclair hair loss severity scale 抗糖化（AGEリーダー） 経皮吸収評価（共焦点ラマン分光装置） 毛髪評価（本数、径、成長速度、水分量、引張強度、光沢度、摩擦強度、退色測定）
腸内環境	ブリストル便形状スケール（Bristol Stool Form Scale） Patient Assessment of Constipation of Quality of Life Scale(PAC-QOL) 便秘評価尺度（Constipation Assessment Scale: CAS）
心の健康・うつ・ストレス	こころの健康チェック表（K6/K10）
ワーク・エンゲイジメント	知覚されたストレス尺度（Perceived Stress Scale: PSS-10） ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度（Utrecht Work Engagement Scale: UWE）
目の健康	BUT(Break Up Time)測定、シルマー検査、染色検査 静止視力(3m・30cm)、動体視力、夜間視力、深視力、 調節微動高周波成分の出現頻度(High frequency component: HFC)値、調節 緊張時間、調節弛緩時間、縮瞳率、近点距離、 フリッカーテスト、視覚的アナログスケール（Visual Analogue Scale: VAS） 黄斑色素密度(MPOD)、コントラスト感度 眼底検査、細隙灯顕微鏡検査
頭痛	頭痛の支障度（Migraine Disability Assessment : MIDAS） 頭痛の支障度（Headache Impact Test-6 : HIT-6） 視覚的アナログスケール（Visual Analogue Scale: VAS）
	数値評価スケール（Numerical Rating Scale: NRS） 表情尺度スケール（Face Rating Scale: FRS）
腰痛	Visual analogue scale (VAS), Numerical rating scale (NRS), Verbal rating scale (VRS), 顔スケール, McGill Pain Questionnaire Roland-Morris Disability Questionnaire (RDQ), Oswestry Disability Index (ODI), 日本整形外科学会腰痛評価質問表（JOABPEQ）, 疾患特異的・患者立脚型慢性腰痛症患者機能評価尺度（JLEQ） 簡易疼痛質問票（BPI）、整形外科患者における精神医学的問題を知るための簡易問診票（BS-POP）、破局的思考尺度（PCS）、EQ-5D, SF-36

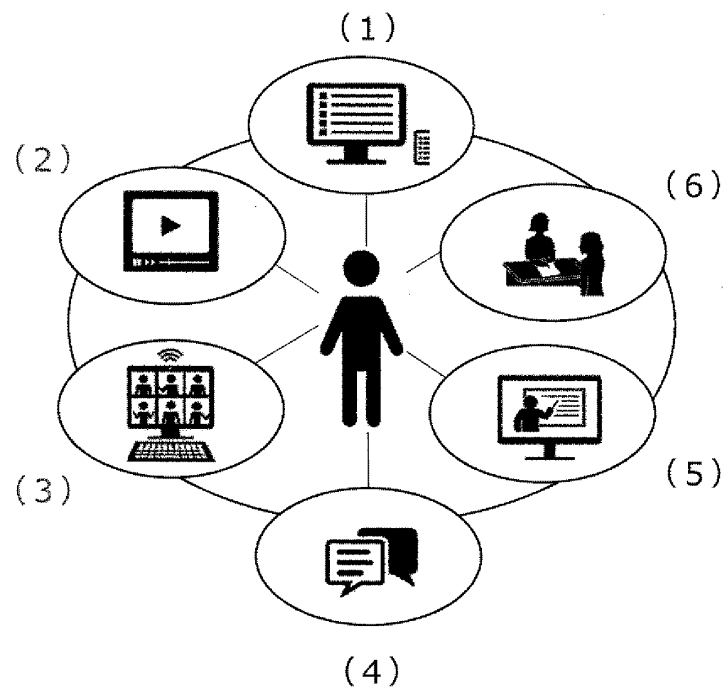
[図25C]

肩こり	腕の上がりチェック
	肩こり重症度チェック
	肩の違和感チェック
	五十肩（肩関節周囲炎）チェックシート
	肩こりのVAS評価
耳の健康	選別聴力検査
関節の健康	視覚的アナログスケール（Visual Analogue Scale: VAS）
	数値評価スケール（Numerical Rating Scale: NRS）
	表情尺度スケール（Face Rating Scale: FRS）
体温恒常性(冷え性)	冷え症評価尺度
食欲増進	簡易食欲質問票（Simplified Nutritional Appetite Questionnaire: SNAQ）
疲労	チャルダース疲労スケール
	大阪市立大学医学部附属病院疲労尺度改正版（modified version of the Osaka City University Hospital Fatigue Scale (mOCUH-FS) Performance status
	倦怠感評価スケール（Fugigue Assessment Scale :FAS）
	簡易倦怠感尺度（Brief Fatigue Inventory）
	Multidimensional Fatigue Inventory :MFI
	疲労感VAS（Visual Analogue Scale）
	Borgスケール
	自覚的疲労スケール（Sスケール） 労働者の疲労蓄積度診断チェックリスト
骨の健康	骨密度検査（超音波測定法、DXA法、MD法(X線)など）
	骨代謝マーカー（血液検査）
男性の更年期症障害	男性ホルモン(遊離テストステロン)の測定(ガイドラインから)
	低値<8.5pg/mL、（8.5≦境界閾<11.8pg/mL）、正常値≧11.8pg/mL
	男性更年期障害（LOH症候群）チェックリスト
高血圧(減塩)	塩分チェックシート
天気痛	天気痛チェックリスト
座りすぎ	座りすぎ度チェック

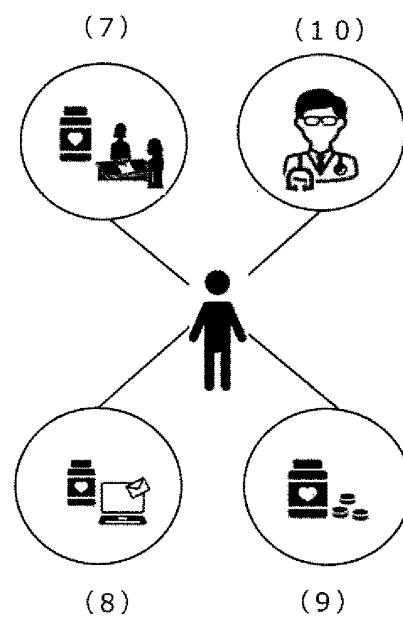
[図26]



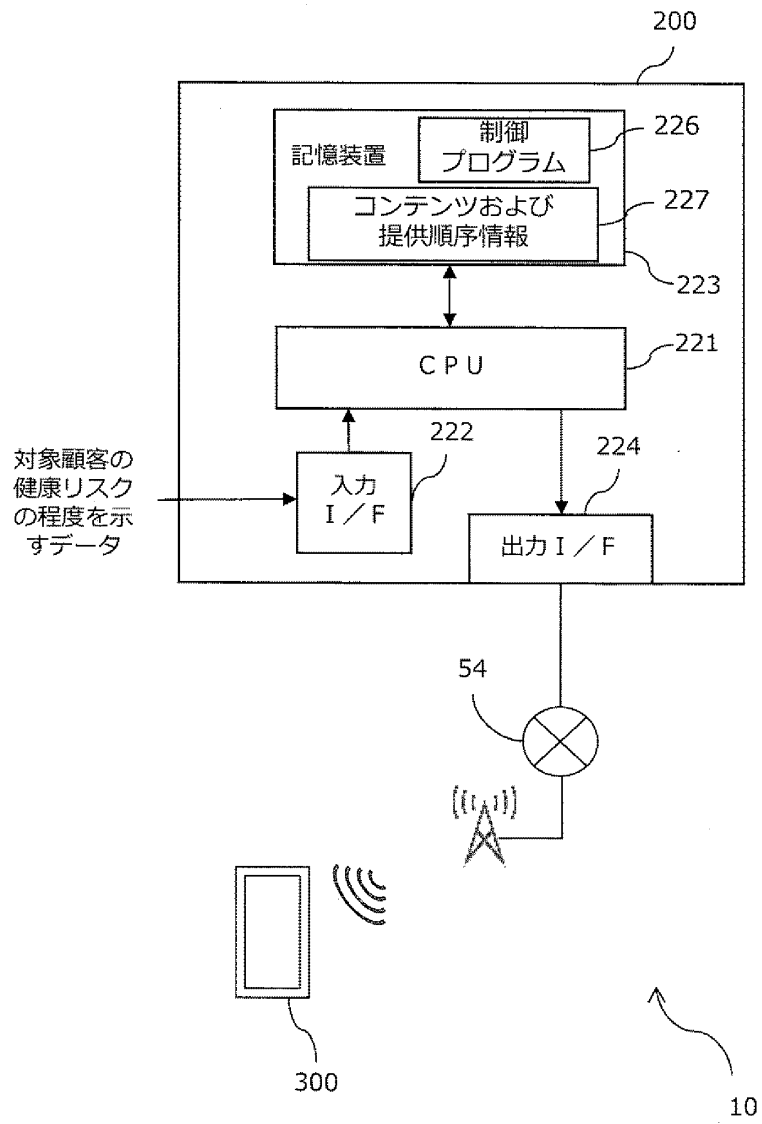
[図27A]



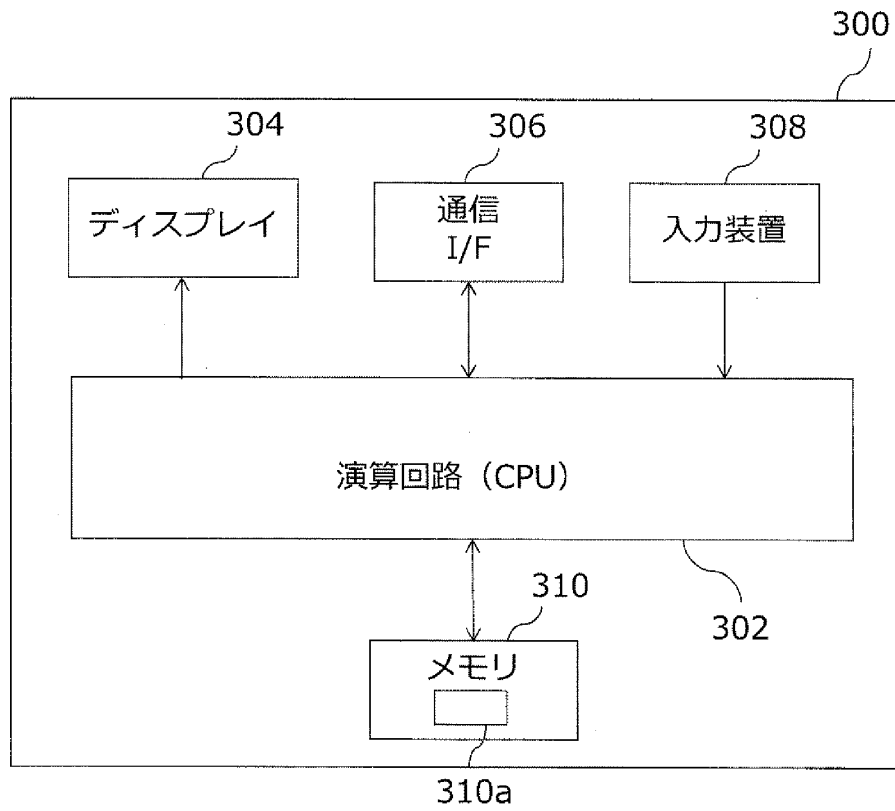
[図27B]



[図28]

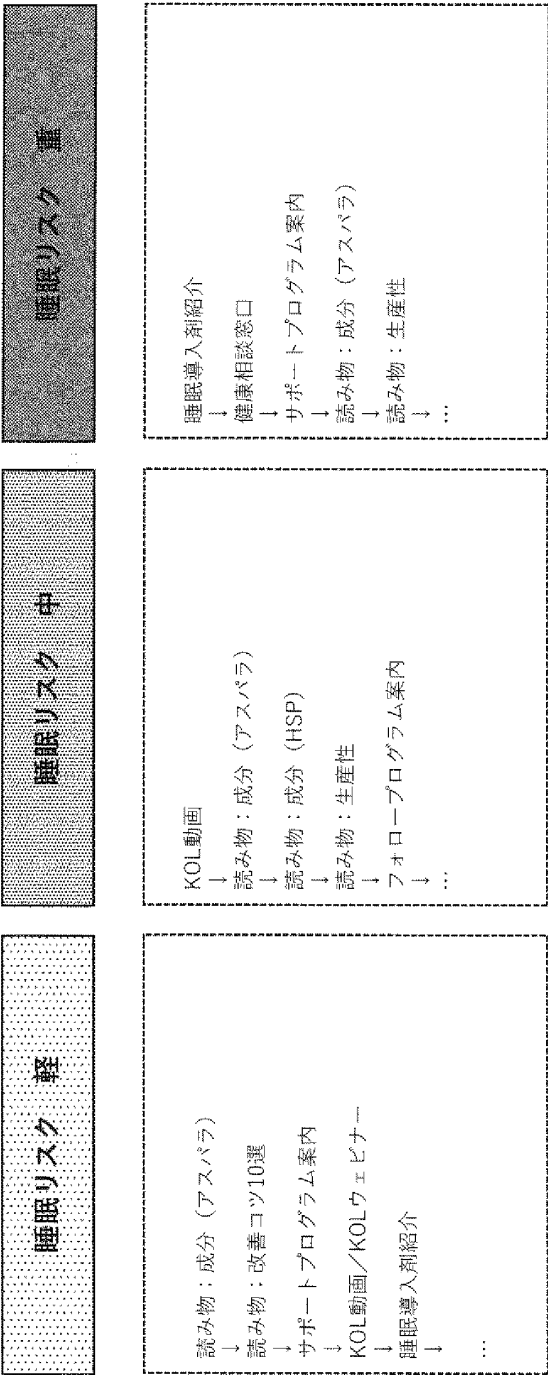


[図29]



[図30]

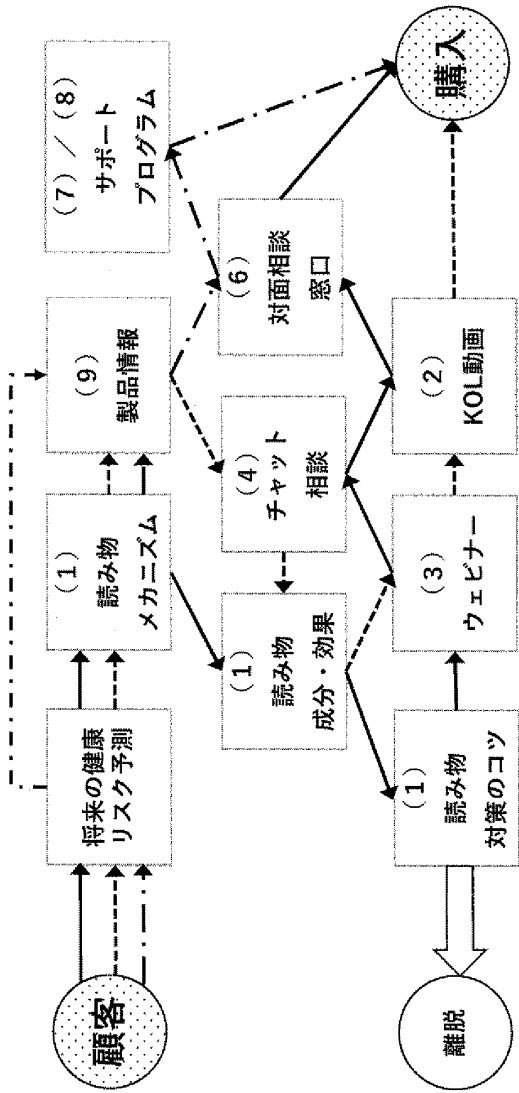
睡眠リスクの程度



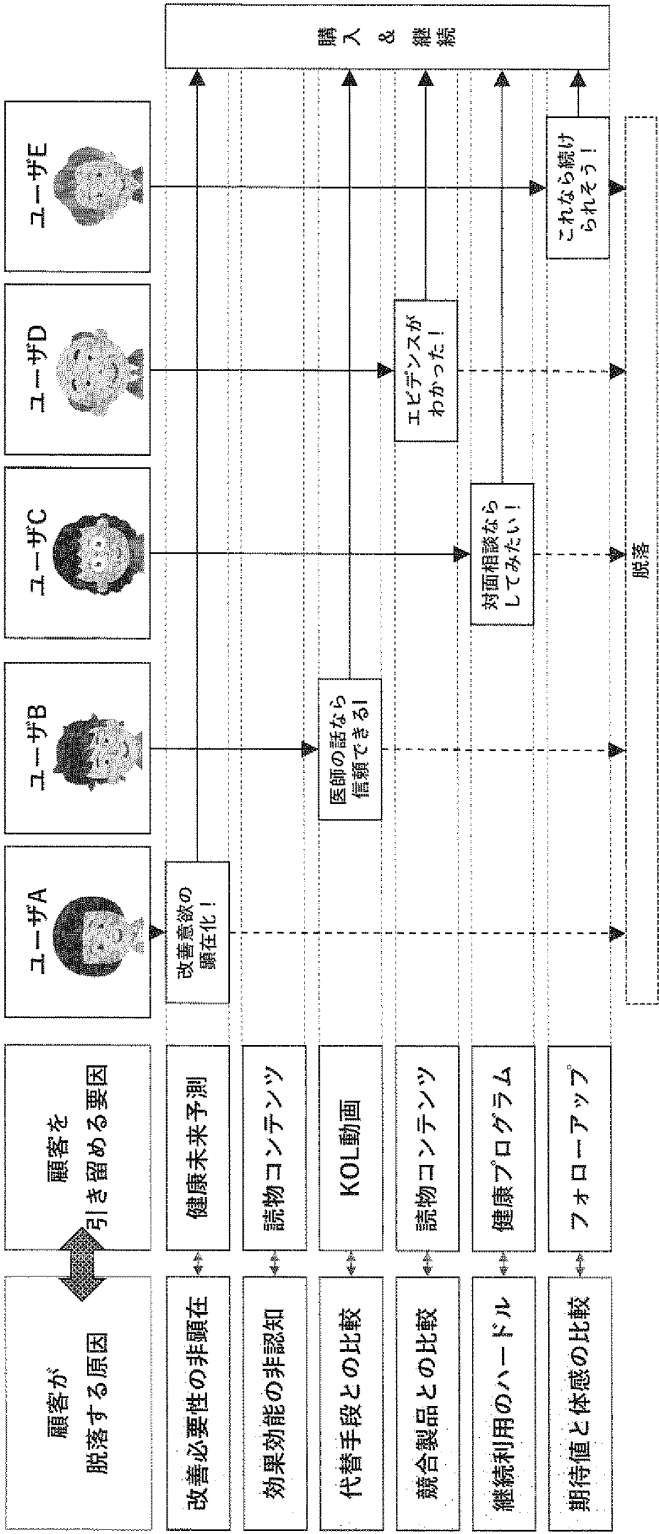
[図31]

ID	1-9	2-4	2-2	1-10	1-6	1-8	2-3	2-7	1-4	2-5	1-7	1-2
性別	男性	女性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	男性	女性	女性	男性
年齢	25	58	59	46	37	63	28	39	47	40	33	63
セグメンテーション	重	重	重	重	軽	中	中	中	中	軽	軽	軽
睡眠習慣チェックテスト	95%	100%	70%	80%	100%	100%	90%	80%	80%	90%	80%	90%
読み物：睡眠の質とリズム	95%	100%	60%	90%	100%	80%	10%	90%	60%	80%	60%	80%
読み物：成分①アスパラ	95%	100%	50%	—	50%	0%	5%	80%	40%	40%	50%	80%
読み物：成分②HSP	—	100%	70%	—	—	—	5%	85%	—	30%	—	—
読み物：生産性	90%	90%	50%	—	50%	100%	10%	70%	70%	100%	20%	70%
読み物：性年代別コソ10選	—	100%	60%	—	—	—	20%	70%	—	90%	—	—
KOL動画	85%	0%	60%	10%	20%	100%	5%	60%	60%	20%	5%	60%
KOLウェブナー	80%	100%	60%	—	0%	70%	5%	70%	10%	60%	5%	60%
健康相談窓口	95%	80%	70%	—	60%	—	40%	40%	10%	70%	70%	50%
賢者の快眠紹介	95%	100%	60%	50%	100%	70%	10%	60%	5%	20%	20%	70%
フォローPLG	—	0%	70%	—	—	—	—	85%	—	30%	35%	—
リポートPLG	—	80%	70%	—	30%	0%	0%	65%	—	90%	85%	—
タイプ	A	A	B	C	D	E	B	F	G	H	I	C
	ほぼ全てに 惹かれる人	ほぼ全てに 惹かれる人	ほぼ全てに 惹かれない 人	基本的な情 報から知り たい人	まず商品を 試したい人	KOL動画で 詳しく知り たい人	ほぼ全てに 惹かれない 人	成分が気にな る人	テスト以外 には悪かれ ない人	自分に合っ た具体的な 情報が欲しい 人	手厚いサ ポートをし てほしい人	基本的な情 報から知り たい人

[図32]



[図33]



[図34]

